



# 柏原中だより

令和8年1月号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 255 名

＜学校教育目標＞ 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

校長 采澤 敬

新年を迎え、三が日は好天に恵まれました。2学期はインフルエンザの流行もありましたが、教育活動はおおむね目的を達成できました。保護者・地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。3学期は次の学年、次のステージへの準備期間です。子どもたちが学習・運動・生活面でさらに成長できるよう、引き続きご支援をお願いいたします。

## 「見えない努力が未来を支える」 ※始業式講話（抜粋）より



今年の箱根駅伝では、青山学院大学が大会新記録で優勝し、史上初となる「2度目の三連覇」を達成しました。往路では5区の山登りで黒田選手が驚異的な走りを見せて逆転。復路でも区間新記録が続き盤石のリレーでゴールしました。國學院大学は初の総合2位、順天堂大学が3位とどの大学もテレビには映らない見えない努力を積み重ねてきた結果です。

今日は、その「努力の本質」についてお話しします。シドニーオリンピック（'00）で金メダルを獲得した高橋尚子選手の高校時代のエピソードです。高橋選手は高校時代、特別に強かったわけではありません。大会で結果が出ず、駅伝でも区間順位は下位。「自分は向いていないのでは」と悩む日もありました。そんな時、恩師の中澤監督がこう言いました。

「今は結果が出なくてもいい。見えないところで力を蓄える時期がある。その努力は必ず未来の自分を支える根になる。」

この言葉を胸に、高橋選手は地道な練習を続けました。朝のランニング、フォーム改善、苦しいインターバル走。誰にも見えない場所で“根を伸ばす”ように努力を積み重ねたのです。そして数年後、世界の舞台で金メダルを獲得したとき、「高校時代のあの言葉が、ずっと私を支えてくれた」と語っています。



高橋尚子さん

皆さんも、今は思うようにいかないことがあるかもしれませんが。勉強、部活動、人間関係、将来…。すぐに答えが出ないことばかりです。でも、結果が見えない時期こそ、一番大切な時間です。見えないところで伸ばした“根”は、必ず未来を支える力になります。

3学期は一年のまとめであり、次の学年への準備の学期です。短い学期ですが、一日一日を丁寧に積み重ねてください。昨日より少しだけ前に進むことを大切にしましょう。

そして、3年生の皆さん。いよいよ受験本番が近づいています。不安や焦りを感じることもあるでしょう。でも、ここまで積み重ねてきた努力は、必ず皆さんを支える“根”になっています。最後まで諦めず、目の前の一日を大切にしてください。ゴールテープを切る瞬間は必ずやってきます。自分を信じて挑戦し続けてください。

## あいさつ運動・エコキャップキャンペーン

12/17（水）早朝、生徒会本部と生活安全委員会が合同で、あいさつ運動とエコキャップキャンペーンを実施しました。冷え込みの厳しい朝にも、生徒たちは明るい笑顔と元気なあいさつを交わし、心温まるひとときとなりました。



## さやまっ子・茶レンジスクール（冬季集中講座）

年末から年始にかけての3日間、本校でも『さやまっ子・茶レンジスクール』を実施しました。この取り組みは、学校外で学習機会を提供し、学習習慣と基礎学力の定着を目指す狭山市独自のものです。夏の講座に続く2回目となる今回の冬季講座では、前回より多くの生徒が参加し、意欲的に学習に取り組んでいました。



### ■埼玉県科学教育振興展覧会中央展

優良賞

### ■全国間税会総連合会 税の標語

### ■埼玉県身障者福祉のための美術展

特選

入選

### ■埼玉県郷土を描く児童生徒美術展

入選

### ■埼玉県小中学校等児童生徒美術展

県特選

入間地区特選

入間地区入選

